



脚本・作曲 ラッセ・ヘイッキラによるミュージカル

# オーロラのもとの

# もとで

## オーロラの下で

これは、14世紀のラップランドを舞台に、北極圏の自然と神秘的な世界に根ざして生きる人々の姿を描いた、心あたまるクリスマスならではのミュージカルです。夫の失踪後、北国の冬を生き延びていかなければならないラップランドの母親、ソッラ。元気いっぱい想像力に富んだ12歳の息子オスマと、彼の親友トナカイ・ケスッカだけが彼女のよりどころです。そろそろお年頃なのになかなかよい相手に恵まれないビルキや「まもなく、北国に新しい風が吹き始める」と預言する年老いた賢者も登場します。

この仲間たちに覆いかぶさり、次第に陰鬱さを増していく空。しかしクリスマス之夜、オーロラの下で謎が解け、運命は急旋回していきます。

このミュージカルは、ロヴァニエミ中心部にある収容人数約500名のカイラテンペリ(Kairatempeli 住所 Kairatie 37, 96500 Rovaniemi)で冬季シーズンに上演されます。

上演はフィンランド語(英語、日本語、ロシア語字幕つき)で、上演時間は約1時間です。期間中、インターナショナル・カフェとラップランド特産お土産コーナーを会場に設けておりますので、是非、お楽しみ下さい。

## スタッフ

作曲・脚本のラッセ・ヘイッキラ(Lasse Heikkilä)は、フィンランドで最も多く作品が翻訳されている音楽家で、これまでに数々の優れたミュージカル作品を世に送り出してきました。[www.lasse.net](http://www.lasse.net)

もう一人の脚本・舞台美術担当のキルシ=クラウディア・カンガス(Kirsi-Klaudia Kangas)は多彩な芸術家、兼作家。東日本大震災の子供達を励ますための絵本「オーロラのもえた夜」(鎌倉春秋社刊)原作原画を2014年に描きおろす。一方、ラップランドのネイチャーガイドとしても活躍。

キンモ・クレー(Kimmo Kuure)はラップランドとオーロラを専門とするネイチャーフォトグラファーで、これまでにラップランドに関するビデオ作品や写真集を多数発表しています。[www.arcticlight.fi](http://www.arcticlight.fi)

## キャスト

主役のインガ役を務めるのは、フィンランドや近隣諸国のほかスペイン、マレーシア、日本でもエスノミュージックグループとのコンサート実績を持つ、ラップランド出身のサイラ・セウルヤルヴィ(Saila Seurujärvi)。[www.saila.fi](http://www.saila.fi)

作曲家が率いるバンドで中心的な役割を果たすフィンランドの民族楽器、カンテレを奏でるのは、国際的な受賞歴を誇る若きヴィルトーゾ、イダ・エリナ(Ida Elina)です。[www.idaelina.fi](http://www.idaelina.fi)

## 公演日程

2015年12月14日	月曜日	18時
2015年12月16日	水曜日	18時
2015年12月17日	木曜日	18時
2015年12月19日	土曜日	18時
2015年12月20日	日曜日	18時

\*2016年ニューイヤー公演有

日本語お問い合わせ  
[ovmc.finland@gmail.com](mailto:ovmc.finland@gmail.com)

## 会場

カイラテンペリ(住所 Kairatie 37, Rovaniemi)

## 公演詳細

[www.revontulpenalla.com](http://www.revontulpenalla.com) フィンランド語

## チケット

大人	17ER
子供	10ER
家族	35ER